

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院病理診断科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名：病理診断支援のための人工知能（病理診断支援 AI）開発と総合的「AI 医療画像知」の創出

1. 研究の概要

病気の解明・診断のため、病理検査を受けた患者様を対象に、病理診断の終了したガラス標本をバーチャルスキャナーという特殊装置で取り込んだデジタル画像を全国的に収集し、ビッグデータとし、人工知能（AI）を利用した病理診断ツールを開発する。

2. 目的

病気の解明や腫瘍が良性か悪性かの判断は、顕微鏡を用いた病理診断で判定されます。病理診断はトレーニングを受け、専門医を取得した病理医が行いますが、慢性的な不足状態が続いています。病理診断の終了したガラス標本をデジタル画像化し、これらを多く集めてデータ化し、人工知能を利用して、病理診断ツールを開発し、病理診断の精度管理や、病理医の不足解消に役立てることを目的とします。なお、この研究は、病理診断に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から平成33年3月まで行われます。

4. 対象者

2010年1月から2017年1月に本院に通院・入院され、病理診断を受けられた方が対象となります。

5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、年齢、性別、臨床診断、さらに病理デジタル画像を利用させて頂き、これらの情報をもとにAIを利用して、病理診断精度管理ツール、病理診断支援ツールの開発を検討します。

◆本研究で利用する試料・情報の内容：病理組織ガラス標本のデジタル画像・年齢、性別、臨床診断

◆本学における試料・情報の管理責任者：佐藤 勇一郎

◆他機関に当該試料・情報を提供する場合

・当該提供先（あるいは提供元）施設の名称：日本病理学会

・当該施設の責任者の氏名と職位：理事長 北村 昌伸

・提供する試料・情報の種類：病理組織ガラス標本のデジタル画像・年齢、性別、臨床診断

6. 費用負担

この研究を行うあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反注1)はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院病理診断科
職名 准教授 氏名 佐藤 勇一郎
電話：0985-85-1873
FAX：0985-85-1873